

川薩大会アンケート（集約）

授業及び授業研究について

- ・お忙しい中授業を提供していただきありがとうございます。2年生5人が最後まで集中力・意欲ともに途切れることなく学習していて素晴らしいと思いました。日頃の学級経営や先生の教材研究あつての授業だったと思います。
- ・少人数での授業の良さ、ICTの活用等勉強になりました。
- ・授業、とても良かったです。規模や職員数、支援学級在籍児童数の違いで、同じように出来ないことも多いですが、時間割り等を調整したりして、できる限りのことをやっていきたい。授業研究は、グループ編成、時間配分、司会、発表などもう少し分かりやすいとよかった。
- ・授業研究のグループ討議の時間配分や進め方の見通しがもちにくかった。様々な学年の児童が複数同時に支援学級で学ぶ授業を参観して学びたい。
- ・リモートと授業参観を組み合わせ、様々な校種の先生方と授業参観と研究授業を行えてよかった。授業の様子をもう少し多く、実際に見たかった。
- ・特別支援学級の児童が交流学級での学習の様子がよく分かる授業でした。また担任の先生が横についていることで安心して学習に取り組んでいたように感じました。支援学級、交流学級それぞれ学級経営がうまくいっているのだと感じました。また、ICTを使った授業展開としてもとてもよかったと思います。今回算数だったので、国語や他の教科も見たいなと思いました。ありがとうございました。
- ・本日は素敵な授業を参観させていただきありがとうございました。交流担任と支援学級担任との密な連携が取れていて素晴らしいなあと感じました。複数学年複数学級なので、すぐに真似できませんが、出来るところから取り入れさせて頂きたいと思います。
- ・各学校の状況と大きくかけ離れていたため、意見がなかなか言えなかった。
- ・大変良かったです。
- ・小学校の授業を参観させていただきました。リモートによる参観を可能にするために、準備等大変だったことと思います。ありがとうございました。授業研究については、協議時間が何分間なのか、発表があるのか等、進め方が不明瞭だったので見通しが持ちにくかったです。グループごとの発表(共有)の時間はなくても良いかなと思いました。情報交換の時間にもなるので、少しでも時間が確保されているとありがたいと感じました。
- ・特性を強く持っている生徒への対応や関わり方が参考になった。また、中学校に入る前から進路について考えておく必要があると思った。
- ・子供の実態に応じた手立てや仕掛けがたくさんありとても参考になりました。
- ・2年生の子どもたちが、ロイロノートを使いこなす姿に感動しました。
- ・自立活動の授業の参考になる授業だった。
- ・授業は良かったと思いますが、中継は画面が揺れ、激しく動き回り、見ていて完全に酔いました。コロナで仕方ないかもしれませんが、せめて三脚を使ったりするなどの配慮が必要と感じました。
- ・いろいろな授業の仕方があることがわかった。また、ほかの自立の授業の内容も知りたい。
- ・自己肯定感も高まる素晴らしい授業を見させていただきました。ありがとうございました。
- ・自立活動の授業を見させていただきました。保護者から中学校のことを聞かれて時に少しでも話ができたらと思いました。また、先生のこともちへへの接し方を真似させて頂きたいと思います。ありがとうございました。

・東郷学園の授業では、先生方で作成された動画を活用されていて、生徒の理解や興味関心を高める工夫がされていて、勉強になりました。

・今回交流学級での授業でしたので、特別支援学級ではどのように指導されているかわからなかったのですが、交流学級の子供と支援を受けながら同じように学習できているのは、素晴らしいと思いました。

・中学校ならではの課題と自立活動を関連させて実践に近い形での授業が行われていたのでとてもよかったですと思いました。

・教具やタブレットなどを使い飽きずに楽しんで学習に取り組むことができていた。子供たちも一生懸命考えていて立派でした。

・小学校交流学級の授業でした。大変興味深い実践を見せていただき、ありがとうございます。授業研究の時間が短かったので、討議の柱はもう少し絞ってもよいと思いました。

・全ての子どもにとって理解しやすい授業だったと思います。教具や指導法など、参考にさせていただきたいものがたくさんありました。ありがとうございます。

・とてもよかったです。

・とても良かった。

・久しぶりのグループで情報共有ができて有意義だったと思います。

・児童に寄り添った言葉かけや工夫された教具がよいよい授業へと導いていることを改めて感じました。

・授業研究では、タイル操作やタブレット活用など、児童が興味をもって取り組める工夫があった。板書も絵や写真などを用いて見やすく分かりやすかった。支援を必要とする児童だけでなく、どの児童にとっても分かりやすい授業になっており、ユニバーサルデザインを意識した授業で素晴らしいです。

・小学校勤務なので、中学校の授業を見る機会が得られたことが大変勉強になった。

・たくさんの大人に囲まれて授業を受けるのは、どれほどの緊張感だったかと、授業を受けていた2人の中学生の一生懸命活動する姿に感心しました。担任の先生とのやりとりも日ごろのコミュニケーションのたまものだと思います。また、生徒の実態に合わせて、映像や発問、活動内容を工夫されていて、生徒自身も学習の成果を感じることができた授業内容だったと思います。日常の関わり方を大切にしたいと改めて思いました。

・タイルを並べやすくする独自の教材や、ロイロノートの活用もされていてとても参考になる授業だった。

・串木野養護学校には何度か研修などで伺わせていただきましたが、今日初めて授業を参観させていただくことができました。小学校の担任を初めてさせていただいており、授業研究の話し合いは少し難しいと感じました。初歩的な研修をもっと受けていかないと、と思いました。

・授業内容は入試面接練習だったと認識している。特別支援の生徒でも理解できるように要点を確認できる動画が自作し、分かり易い。最後の振り返りは小さなホワイトボードに書かせて貼る。または「代わりに読んであげてもいいのかな」と思った。参考にして入試面接練習させたい。

・オンラインだけでなく、直接見る時間設定があったことで、実際の児童の反応を見ることができて、よかったです。

・リモートでの参観とのことであったが、実際見ることができてよかった。授業研のグループ分けは、受付でもできたのでは？

・時間が短くて深まりに欠けました。もう少し余裕を持った日程がいいかなと思います。

・具体物を使った授業で、大変参考になった。タイルを操作する、手で操作するということが大変効果的に思われた。リモートばかりでなく、実際に見てもよいと言っていたので、ありがたかったです。

分科会について

- ・切通小の取り組みを聞かせていただきました。学校規模により、できることが違ってくると思いますが、小規模校の良さを生かして、特別支援学級担任と全職員で、児童を温かく支援されていることが伝わってきました。コグトレやビジョントレーニングについて、改めて活用しようと思いました。
- ・情緒学級の自立活動について、専門ではない部分(ビジョントレーニングなど)どこまで担任がやるべきか。学習も進めないといけないし。その辺りが、新たな疑問になりました。
- ・特殊音節の指導についてはとても難しい指導の分野であり、課題意識があったところだったので、とても参考になりました。
- ・取り組みとして、一人一人活躍できる場があったなと感じました。連絡帳での児童をほめることは自分もしていますが、なかなか保護者からの返事もないです…しかし、今後も子どもたちの良き、頑張りやを伝えていこうと思っています。
- ・1つ自信を持つと全ての自信に繋がるのでとても大切だと思います。また、遊びの中でミニバトミントンでのラリーを通して続ける為には相手のことをしっかりと考えてボールを打つ速さを変えないと行けないと思ったり、どこにだせばいいかを考えてほしいと思って遊びを提案されていると聞き、学校でも実践したいと思います。
- ・研究討議にならなかったのですが、質疑応答も参考になりました。
- ・発表してくださった先生に、感謝申し上げます。自分の実践を発表するのは、本当に不安も多く、ご負担だったことと思います。ありがとうございました。
- ・研究討議の時間がほとんど持てなかったのが残念だった。指導の先生の話は聞きやすく興味深いものだった。
- ・情報交換ができ今後の教育活動に生かすことのできる内容でした
- ・各学校が抱えている困り感についての話し合いに対応していなかったように思える。
- ・いろいろな工夫をされて、お子さん方に向かい合う先生の姿に感動しました。
- ・授業研究の研究討議が長引いて、時間が充分にとれなかった。
- ・良い実践で、みせていただきありがたいですが、議論するには意見が出にくい内容かなと思いました。
- ・もう少し討論をする時間が欲しかった。
- ・他の先生方のたくさんの意見を聞かせていただき大変勉強になりました。
- ・発表してくださった先生の話は生の声だったので、マイクがもっと近くて聞き取れたらもっとよかったなあと思いました。もう少し討議の時間が欲しかったですね。
- ・時間がもっと欲しかったです。
- ・もう少し特別支援に特化した形の発表を期待していました。
- ・通常の学級においての支援の方法が明確でわかりやすかったのでぜひ自分の学校でも実践したいと思いました。
- ・小規模と大規模では支援の体制や子供の人数も違うため一律にはできないので難しいなと思いました。
- ・通常の学級の指導について、短い時間でしたが、興味深い実践と指導講話でした。ありがとうございました。
- ・切通小学校の取組は、支援学級の児童はもちろん全校の児童を大切にされている様子がよく分かりました。支援学級の児童を念頭において校内研修の研究テーマを決めているのもすばらしいと思いました。
- ・勉強になりました。
- ・良かった
- ・県内でも特別支援学級在籍の生徒の進路状況が地区によっても違うことが分かった。

- ・お互いの考え方や悩みなどが聞けてよかったです。
- ・研究テーマに沿って取り組まれた話を聞くことができ、参考になりました。
- ・グループ討議で様々な意見が出されたので、時間がもう少し確保されていたらよかった。
- ・実践報告、講話を通して、今後の指導のあり方について考え、やらなければならないことがたくさん見えてきました。もっとグループで悩みや実践の共有をする時間がたくさんほしかったです。他の先生方も同じようなことで困っているんだということを確認するだけで終わってしまいました。
- ・具体的な実践の報告で、実態把握の方法や座席の配置方法など参考になって良かった。
- ・小学校の先生方は丁寧だと感じた。ビデオを見た後に絵で確認するとか立ち位置にテープで印をつけるなど参考にしたい。
- ・実践研究の内容、質疑応答、指導助言まで、学ぶことばかりでした。
- ・①グループ討議の時間が短く、討議を深めることができなかった。②発表校の動画を流すことができず申し訳なかった。(山崎小会場)
- ・こちらも時間が短く、せっかく用意してくださった方に申し訳ないように思いました。
- ・支援のあり方として大変参考になった。

全体会(講演)について

- ・中山先生の貴重なお話を拝聴でき有意義でした。合理的配慮についてより具体的な内容について考えることができました。
- ・さとしくんの事例の「カミングアウトは慎重に」というところは、合理的配慮の提供の理由を他の子から聞かれたときにどう説明しているのだろう。自分も同じようにしたい、という子がいたら…カミングアウトせずにどう他の子に理解してもらうか。
- ・発達障がいについて、教師や学校が本当に理解し、正しく支援することの大切さについて、深く考える機会となった。大変わかりやすく、ありがたかった。
- ・合理的配慮について、具体的で分かりやすかったです。なかなか合理的配慮を提供しないことが差別にあたるということを理解できていない人も多いので、あらためて、大切なことだと感じました。
- ・児童の頑張りを認められる学級作りが大切であると思いました。合理的配慮の大切さを学校でも伝えていきたいと思います。
- ・繰り返しの指導の大切さについて改めて学ばせていただきました。教えて→わかった→次の日には忘れてしまっているの繰り返しですが、諦めずに指導して行きたいなあとおもいました。
- ・合理的配慮の難しさを感じました。予算も環境も話し合いも。
- ・リモートでの講演はメモもとりにやすくよかった。スクリーンショット(画面の撮影)が可能かどうかをアナウンスしていただけるとありがたかったです。また、参加者のマイクがオンになっているのは、講師に大変失礼だと感じましたら。事前の確認やホストによるオフも大事だと思います。
- ・具体例をあげての講演だったので理解しやすかった。
- ・ズームでしたが集中して聴けました。教師がチャレンジすることで子供もチャレンジする。心に残りました。
- ・子どもたちが、笑顔になれるように、これからも工夫をすることの大切さを感じました。
- ・合理的配慮を上手く使って、生徒の進路選択の幅をひろげられるように、学校での対応を考えていこうと思った。

- ・資料もあり、とても良かったです。先生の説明も、丁寧にされていてわかりやすかったです。わかりやすかったです。
- ・生徒個人の能力に合わせて合理的な配慮を提供するためにも、保護者と本人との面談は定期的に必要だと感じました。また、生徒の「できない」を得意でカバーするというのは学級運営にもつながると思った。
- ・今まででの特別支援の研修で一番勉強になりました。ありがとうございました。
- ・話の内容が自分のクラスにも当てはまるなあと感じて聞きました。ありがとうございました。
- ・パワーポイントでの解説があり、わかりやすかったです。
- ・合理的配慮については、保護者当該児童生徒、学校の合理的な合意形成が不可欠であり、互いに合意のための努力が必要であると理解できた。
- ・合理的配慮を行わないことが差別になるということも理解しましたし、その上で合理的配慮を選択することや合理的配慮の選択肢を作るためにはまだまだ勉強しなければならないと感じました。
- ・合理的配慮はどこまでが望ましいのか判断が難しいなと思いました。
- ・わかりやすい内容でした。質問はやはり、対面の方がやりやすいですね。
- ・具体的な事例をもとに話して頂けたのでわかりやすく、自分の学校でどのように生かそうかと考えながら聞くことができました。ありがとうございました。
- ・とても参考になりました。
- ・すごく勉強になり実践します
- ・いろいろな示唆を与えてもらいました。いくつかの例の提示では、やや学校へ厳しい見方もあったように思います。
- ・さとし君、事例 F さん、取組の過程、成果、大変興味深く拝聴しました。講演の開催にも感謝します。ありがとうございました。
- ・もうすこし、現場に寄り添った方がいい。質疑応答で「合理的配慮をしたいのはやまやまですが～」と質問された先生に対し、「してもらえない」「もとめられることをしてないことは差別である」との発言をされたので現場の大変さを知らないことにびっくりしました。数回、学校の理解がないとの発言もあり残念に感じました。
- ・事例を挙げて具体的に教えていただきました。合理的配慮についていろいろ考えさせられました。
- ・学校と外部機関、保護者との連携の在り方について考えさせられた。互いの考えやねらいを十分に分かり合っ
て進めていくことが大切だと思う。
- ・合理的配慮の具体的な実践例についてお話いただき、参考になりました。支援学級に在籍する生徒は、1 学級に複数おり、一人ひとりの特徴に合わせた合理的配慮をする必要があることは分かるのですが、実際は学級全体でできる配慮を行い、個別に声をかけながら対応している状態です。また、鹿児島県の高校入試の内容や入試で求めている学力が大幅に変わらなければ、LDの生徒には高校進学という進路実現の壁はなくなるのではないのでは、とも思います。
- ・F 君のサポート方法などわかりやすかった。
- ・事前に頂いていた資料が難しかったので、不安でしたが、実際に講演をきいてとてもわかりやすく、職場の先生方と話し合うのとは違った視点でのお話だったので、とても勉強になりました。
- ・1 人ひとりの特性があり、それぞれ特徴が異なるけれどそれぞれができることを伸ばせるように寄り添っていき
たい。
- ・興味深い内容で、改めて指導のあり方を考えさせられました。

・リモートでの開催であったが、音声をミュートにできていなかったりして、聞こえづらい場面があった。要項にも明記しておくべき。

・①よかった。事例を挙げながら、分かりやすく話をしていただいた。②「書かせる」支援より、「カバーする支援」に力点を置くべきということなど心に残った。

・とても興味深い公演でした。

・合理的配慮を実践・継続するにはどうしたらよいかという事例をようやく知ることができたのでよかった。ただ、自分で実践するには、膨大な教材づくりの時間が必要ではと感じている。モデルを示していただいたので、がんばりたい。また、静かに聞くスキルが必要だという回答をしていただいたが、そのスキルトレーニングについても詳しく知りたいと思いました。チャットだと質問しやすいと思いました。また 事前に質問が出せたらよいと感じました。資料の送付もありがとうございます。

・合理的な配慮の「書き方」について、具体例を拝聴することができ大変参考になりました。講師の先生に質問です。100の熟語を選んだということですが、100の熟語の選び方、なぜその熟語を選んだのかを教えてくださいたいです。中2の生徒に国語の授業をしているので参考にしたいです。よろしくおねがいします。

↓中山先生の回答です。

私たちが指導に入る前に、F君の漢字の読みについて実態把握を行いました。

その結果、2年生までの漢字については読むことができていました。(担任の先生はカタカナの読み書きも難しいかもしれないと言っていました。)

そこで、3年生から6年生までに習う漢字の熟語を選びました。

ただし、アプリを作る上で絵またはイラストの刺激を選ぶ必要があることから、高学年で習うような抽象的な言葉の漢字熟語はアプリを作る上で相応しくありません。

その結果、名詞を中心にしたイラストや絵で表しやすい漢字熟語を選んでいきます。

その他について

・コロナ禍も3年目を迎え、本日このようにハイブリッド開催でできましたこと感謝いたします。特別支援教育の研修の場は非常に貴重です。本当にありがとうございました。

・勤務校が遠く、講演にぎりぎり間に合った。山崎小でリモートで講演を聞かせていただいたかった。

・本日はありがとうございました。

・会場分散かつリモートで、大変だったと思います。お疲れ様でした。

・今回は、複数会場での開催になりご苦労が多かったことと思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。

・あれこれ工夫していただき 運営その他にも学ぶことがたくさんありました。ありがとうございました。

・事前の打ち合わせがもう少し必要だった。進行の係をしたが、時間の余裕がどの程度あるのか、判断が難しかった。

・準備など本当にありがとうございました。参加できて良かったです。

・運営の係分担で不要な係もあったと思うので人数や役割分担の見直しが必要だと思います。

・感染症対応の中での開催、おつかれさまでした。ありがとうございました。

・準備等大変だったと思います。ありがとうございました。

・ありがとうございました。

・特にありません

・公立高校の受験生に対しての合理的配慮は本県ではまだまだだと感じます。他県の事例等を集約して希望していかなければと思います。

・特別支援学級で、複数学年をもっている学級の授業の進め方を学びたいです。

・コロナを心配しながらの開催で、計画や準備で苦勞されたと思いますが、リモートなど工夫をして開催していただきありがたいでした。お疲れさまでした。

・今日学んだことを自分の実践にどのように生かしていけるか考えながらメモをとりました。特別支援学級の子供たちの進路について報告がありましたが、入学後について、高校の先生も交え話せる場が今後できることを希望します。

・実際の学校、教室での研究会だったので、できれば支援学級の教室内の設営や配慮していることなどについて見学させていただく機会があったらよかったですと思いました。初めて参加しましたが、運営に携わった先生方の準備等たいへんなご苦勞があったかと思えます。ありがとうございました。

・係の先生準備などありがとうございました。

・授業を参観させていただき、とてもありがたかったのですが、少し速かったようで酔ってしまいました。

・ありがとうございました。

・①運営について→初めから終わりまで、会場責任者(県 or 地区)がいた方がよい。最後のしめ?は会場校がした。②会場で耳にした話では、複複式(複数学年)での授業でどう支援するかというニーズが高いと感じた。会場校は輪番でなく、テーマやニーズを優先して決めた方がよいのではないか。③本研究会として、今年の総括(運営、授業など)をされると思うが、その結果を会場校に知らせてほしい。それが、来年度への積み重ねになるようにしてほしい。昨年度までの本研究会としての課題、経過が分かりにくかった。④夏休みから、相談にのってくださった県事務局の山口さん、直前まで細かい指示をして下さった地区事務局の森園さん、ありがとうございました。

・コロナ感染症予防対策のためのいろいろな工夫や変更の中で運営をしていただいたことに感謝しております。ただ、分担がはっきりするのに時間がかかり、部長さんが大変だったのではと感じました。分担が早めに分かれば、それぞれに協力ができますので、今年度の反省を生かして次の方が楽できるようにしてほしいと思います。会場校では、児童の安全確保も必要ですから、「係・役員も 8 時 15 分以降に学校に駐車するように」などの注意書きも必要ではと思いました。早く行って準備をしたいところですが、車の出入りと児童の動きが気になりました。運動場での朝の活動も、その日は控えてもらった方がよいのではと思いました。役員と係と区別がつきにくかったので、強調していただけたらと思いました。進行などのマニュアルを作成していただき、大変助かりました。全体会場での打ち合わせ時間が決まっていたらよいと思いました。